



通宝山 弥勒寺

(夢前町)



◀山門の奥に本堂が見えます



▲弥勒三尊が安置されている本堂

姫路市夢前町寺にある通宝山弥勒寺は書写山圓教寺の奥の院と言われ、圓教寺とは密接な関係にあります。

長保2年(1000年)圓教寺を開基した性空上人が、隠棲(俗世間から離れて静かに暮らす)され草庵(茅葺や藁葺きの屋根を持つ小さな家)を営んだのが始まりとされています。長保4年(1002年)には花山法皇が播磨国司に諸堂を建立させ、天授6年(1380年)に赤松義則が本堂を建立しました。

本尊は珍しい弥勒三尊で、中尊に弥勒仏、左脇侍は妙尊に弥勒仏、右脇侍は法苑林菩薩です。三尊とも権の一本作りで学術的価値の高い尊像とされ、本堂とともに国の重要文化財に指定されています。

また、夢前七福神一番霊場でもある弥勒寺は、布袋さんにも縁深く、日本一大きな布袋像があります。毎年11月3日にはこの布袋像の前で布袋まつりが催されています。このまつりでは、普段非公開の本堂や弥勒三尊、日本庭園が一般公開されています(本堂と弥勒三尊は正月三が日にも公開) 大変貴重な機会です。是非ご覧ください。



▲日本一大きな布袋さん像(高さ5m)

(写真・文 常任理事 川井 隆)





講演で田村先生は、終末期の人工栄養を含む「食べる」ことについて話されました。

が参加しました。

8月18日(土) 午後には姫路労働会館で『姫路医療生協緩和ケア学習会』が開催されました。介護保険施設マリ・ヴィラの診療部長 田村亮先生をお招きして「死と向き合いながら今をどう生きるか」「食べられないを支える」というテーマでご講演いただきました。職員を中心に118名が参加しました。

姫路医療生協 緩和ケア学習会

終末期の「食べる」とは

終末期においては、栄養改善や脱水予防目的の高カロリー栄養投与が必ずしも状態改善につながっていないことがあり、体が必要とする以上の栄養投与は、慢性炎症の一因となる場合もある。体が吸収できる栄養量にすることで苦痛が軽減できるとし、終末期の人工栄養の差し控えは緩和ケアの一つであると解説。

人工栄養の量を控えると餓死するのではとの心配や誤解があることや、利用者家族の心理や状況についても説明されました。医療・介護に携わるケアスタッフが、終末期のケアを家族に丁寧に説明し納得していただくことが大切だと語られました。

講演後は意見交換会となり、共立病院から西村哲範院長、居宅介護支援事業所の杉岡眞由美統括責任者、訪問看護ステーション森啓子統括責任者、小規模多機能ホームでがら竹岡友香子所長が、自らの経験を語りながら、田村先

生と意見を交わしました。参加した職員は、「終末期の利用者一人一人にあった栄養摂取量を見直し、楽な状態を保っていたできるようにしたい」「残される家族にとって、予期的悲嘆は辛いことだと思っていたが、予期的悲嘆をすることで、利用者の死後も受け入れが早いことを知って驚きました。家族が思いを表現できる環境づくりもしていききたい」などの感想が出されました。

この日学んだことを各職場で情報共有し、業務に活かそうと、参加した職員は意欲とともに持ち帰りました。



▲意見交換会。中央が田村先生



▲華やかな傘踊り (グループアゲハ)



▲参加者と輪唱も(ル・ママン・キャトル)

地域とのつながりをひろげ 実りの秋に

～2018年度「秋のいきいき楽・演・祭」開催～

今年も9月24日より秋の生協強化月間がスタートします(11月末まで)。それに先駆け、9月13日(土)午後、姫路キャスパホールで2018年度秋の生協強化月間スタート企画「秋のいきいき楽・演・祭」を開催。職員・組合員合わせて239名が参加しました。

今年の楽・演・祭は荒川支部「とんちかん」のオカリナが奏でる癒しの音色と「ル・ママン・キャトル」の素敵なハーモニーで爽やかに幕開け。続いて、福居副理事長より月間の方針が提起されました。原水爆禁止世界大会の参加報告では、広島の高校生が戦争の記憶を絵で残していく取り組みなどが紹介されました。

健康づくり委員会からは「ひょうごまるごと健康チャレンジ」と「ひめっこ体操」が紹介され、体操は参加者全員で体験しました。会場は大いに盛り上がりました。最後はグループアゲハの華麗で力強いパフォーマンスが会場を沸かせました。この秋は楽しく、美味しく、オシャレな活動を進め、くらしの安心ネットワークをひろげていきましょう。

事業所からは、増位・広額地域包括支援センターが野里大日町で行われた「認知症SOS ネットワーク模範訓練」について報告。地域全体で見守りや声掛けを行うことで、認知症になっても安心して外出が出来るやさしいまちづくりの取り組みが紹介されました。



▲「ひめっこ体操」に自然と体が動きます

災害への備え 大丈夫ですか？

～第20回 介護・医療フォーラムを開催します～

地球温暖化が進む中、超大型の台風が何度もやってきています。台風以外にも、地震やゲリラ豪雨に見舞われるなど、いつこの地域が被害に遭うかわかりません。今年の介護・医療フォーラムでは、防災対策専門の飯島義雄先生をお招きし、「災害に強いまちづくり」をテーマにお話をさせていただきます。私たちが地域で連携してどんな対策や避難をしたらいいかを学びます。姫路医療生協のスローガンでもある「地域共生社会づくり」の一つとして取り上げました。どうぞ、組合員以外の方も誘いしてご参加ください。

(学びと交流委員会 委員長 柿谷純一)

姫路医療生活協同組合 第20回 介護・医療フォーラム

記念講演 「災害に強いまちづくり」 ～「地域の絆」について改めて考えましょう～

講師 飯島 義雄氏 関西学院大学大学院 客員教授

日時 11月22日(木) 14:00～16:00 開場(13:30)

会場 姫路キャスパホール 〒670-0913 姫路市西駅前町88番地キャスパ7F TEL 079-284-5806

入場無料

*ご来場には事前申し込みが必要です。(予定人数を超えた場合のみ、個別にご連絡いたします)

先着300名

組合員サービス部：〒670-0832 姫路市双葉町10番地 TEL 079-285-3399 FAX 079-285-3406



2018年WHOウォークイベント 旧野里街道を歩く 10月28日(日)

※雨天中止 (朝8時時点の天候の状況で判断します)

集合場所 JR播但線 京口駅

集合時間 午前9時30分

※終了は12時頃

参加費(資料代) 200円

今年のWHOウォークイベントは、旧野里街道を散策します。秋のさわやかな日差しの中、なつかしい町「野里」で古の風を感じてみませんか。



大野家住宅 (姫路市都市景観重要建築物)

共催：高齢者はりまの会・姫路医療生活協同組合(健康づくり委員会) お問合せ：姫路医療生協 組合員サービス部 TEL 079-285-3399 FAX 079-285-3406

全国の共同組織が

一堂に集結！

共同組織活動交流集会 in 神奈川

全日本民医連主催、第14回共同組織活動交流集会が神奈川県横浜市内で開催されました。

今回の交流集会のテーマは「平和と憲法を守り、全ての世代が手を取り、共同の輪を広げよう」です。9月9～10日の2日間で全国の共同組織から延べ2400名以上が参加しました。

開会前にはソーラン節や横浜中華街の獅子舞が会場を活気づけました。直前に地震のあった北海道からは41名の方が無事に参加され、現在の被災地の様子を話され、安心・

安全の街づくりの必要性を訴えました。

記念講演では、文化人類学から見た民医連や医療生協の活動についてセントルイス・ワシントン大学院生のヘイムス・アーロンさんが発表を行いました。その中で、「一般の病院は表面的な治療しかできない。医療生協の病院では、病気はもろろん病気の根本である孤独を班会や活動から解決することができると話されました。また、医師奨学生が「参加した班会から元気を貰った。医師になって元気を返したい」と熱い思いを語り、



▲獅子舞が参加者を歓迎

会場から大きな拍手がおりました。2日目の分科会では、各共同組織の活動や横須賀基地を巡る「動く分科会」が行われました。動く分科会では、実際の活動で、

会場から大きな拍手がおりました。2日目の分科会では、各共同組織の活動や横須賀基地を巡る「動く分科会」が行われました。動く分科会では、実際の活動で、

た。

地域のふれあい喫茶で健康チェック

東第1支部・東第2支部でおこないました！

9月5日（水）、宮上町のひがし交流センターで、東第1支部と東第2支部合同のまちかど健康チェックを実施しました。以前は地元スーパーで行っていましたが、閉店により実施場所に困っていました。いきいき百歳体操やふれあい喫茶が開かれているひがし交流センターで実施でき、

また、近隣の組合員さんへお配りするニュース「ひめじ」に折り込みチラシを入れたことにより、朝早くから健康チェックを受けに来てくださった方もあり、健康への関心が高いこと、そして「ひめじ」が組合員さんの手元に届いているおかげと思い、嬉しい限りでした。

後日行われた運営委員会での感想は、「折り込みチラシによる案内が良かった」、「世話人の振り分け、健康チェックの勉強会があれば、結果に対する説明が出来るのではないか」などの意見が出ました。

健康寿命を延ばすためにも、地域に根ざした活動にしていきたいと思っています。

（東第1支部支部長

松本 純子）



▲心配された台風も過ぎ、多くの方にご利用いただきました

7月よりスタートして今回で2回目になります。世話人が他の活動と重なる日もあるため、一支部では運営が難しいと判断し、2支部合同で実施することにしました。前回は、初めての会場ということ、前日の大雨の影響も重なり、チェックがスムーズに出来ず待ち時間が長くなり20名の利用でした。今回は世話人も増員し、スムーズな運びで39名チェックすることが出来まし

健康野菜 ひまわり市

10月2日（火）
9日（火）
16日（火）
23日（火）
30日（火）

8：00～10：00
共立病院正面玄関

無料法律なんでも相談

10月18日（木）
11月15日（木）
12月20日（木）

時間 PM2：00～4：00
場所 共立病院相談室（共立病院の薬局前）
協力 姫路総合法律事務所（弁護士）

※要予約 相談希望の方は、下記へお申し込みください
姫路医療生協本部
☎（079）285-3398

行事案内

関心がある行事にぜひ参加ください！

お問合せ
☎079-285-3399
（組合員サービス部）

ひがし介護フェア

10月20日（土）10時～12時
場所 灘市民センター（姫路市白浜町宇佐崎中2丁目520）
腰痛体操や訪問看護体験、健康チェックなど内容盛りだくさんです。是非ご参加ください。

支部ニュースづくり交流集会

10月23日（火）14時～16時 ※事前申込が必要です
場所 姫路商工会議所605会議室（姫路市下寺町43）

健康チャレンジ応援講座 第2回

「フレイルチェック」と「ロコモ予防で」高齢期をいきいきと！ ※事前申込が必要です。先着40名様まで。
10月30日（火）14時～15時
場所 生協本部1階会議室（姫路市双葉町10）

第20回介護・医療フォーラム

11月22日（木）14時～16時 ※3面に関連記事
場所 姫路キャスパール（山陽百貨店7階）

サークルてくてく歴史散策

11月14日（水）参加費 6000円
紅葉と桜の花が競い合い咲く珍しい寺 普門寺と明治初期の学校・レトロな旧遷高小学校を訪ねる（岡山）
会員申込 10月22日までに葉書で姫路市宮上町1-59-2 野村千恵子宛 ☎090-8201-7688

私のおすすめ料理

野菜とチーズの仲良し巻

香寺支部 前川 佳代さん

材料		香寺支部 前川 佳代さん	
豚ロース（薄切り）	300g	②豚肉を薄く広げ、茄子、人参、スライスチーズをのせて巻き、米粉をうる。	
茄子	適量	③フライパンにサラダ油を熱し、巻き終わりを下にして転がしながら焼く。	
人参	適量	④Aを加えて絡ませる。	
スライスチーズ	6枚	⑤食べやすい大きさに切り、サラダ菜やプチトマトを添え盛り付ける。	
米粉	適量		
サラダ油	適量		
サラダ菜	6枚		
プチトマト	12個		
A			
①砂糖	大匙1.5		
②酒	大匙1		

【作り方】

①茄子はアク抜きし、人参は5ミリ幅の拍子木切りにしてゆでしておく。スライスチーズは1枚を4等分に切っておく。



香寺町で理容店を営む前田裕一さん(69)は幼少時より祭りが大好きで、店内には勇壮な祭りの油絵や2基のミニチュア屋台が飾られています。屋台の写真だけでなく、屋台の彫刻なども研究されている前田さんにお話を伺いました。

屋台の花形「狭間」

「溝口で生まれ育ち、地域周辺の祭りを追いかけていた祭り大好き少年でした」という前田さん。高校に入り、カメラを持って播州各地の屋台や練り合わせなどを撮り続けていましたが、30年ほど前に

播州屋台の研究では第一人者の粕谷宗関さんと出会い、粕谷さんの影響から今は屋台の狭間(家で言う欄間)を撮り続けておられます。

狭間の彫刻は製作者の心意気はもちろん、日本の歴史的な戦や地元の風土歴史などの物語が屋台4面に彫られています。

▲前田さんと自作のミニチュア屋台

ます。「播州地方には神輿型屋台240台、布団屋台135台以上(小型屋台を除く)あると言われていますが、彫刻が全て違い、彫刻者を調べると彫り方の特徴や当時の地元住民の心意気がわかり大変

永遠の

お祭り大好き少年

香寺支部 前田 裕一さん

興味深いです。屋台が停まっている時に近寄って装飾品を見ると、祭り見物も楽しくなると思います」と話す前田さん。広畑の才天満神社の屋台には、播州屋台で唯一の書写山圓教寺の鬼追いの狭間があり、非常に珍しく貴重なのだそうです。

また、ミニチュア屋台を自作している前田さん。実寸の10分の1の大きさで、屋根、台場、差し棒など隅々まで正確に作られています。今まで

3基製作し、1基の製作に10ヶ月以上費やしたそうです。

屋台に歴史あり

播州屋台全ての歴史を調査された前田さんは屋台研究家としても活動されています。「屋台の歴史を調べるのも面白いです。いつこの製作所で新調されたのか、新調した屋台の形が前とどう変わったのか。また、不要になった屋台を追いかけるのも面白く、多くの屋台が山手(香寺町、福崎町、朝来市、多可郡など)

中学の恩師から贈られた油絵



▲昨年新調された白木屋台(英賀神社)



▲書写山圓教寺の鬼追いの狭間(才天満神社)

に嫁入りし、今も活躍しています」と話す前田さん。屋台の型は各地方の練り方により進化していったそうです。

「多くの祭りの催日が土日になり、お店があるので撮影機会が減ってしまい残念です」と前田さん。これからもお元気で、播州屋台の魅力を後世に伝えてください。(取材 常任理事 川井隆)

前田さんのホームページ

【播州屋台旅日記】

<http://yatatabinikki.net>

歴史など播

州屋台の情報

が満載です。

